

最高裁判所判事

深山卓也(みやまたくや)

(昭和 29 年 9 月 2 日生)



略歴

昭和 54 年	東京大学法学部卒業
昭和 55 年	司法修習生
昭和 57 年	判事補任官
	その後、東京地裁、函館地家裁、公害等調整委員会事務局、東京地裁、那覇地家裁において勤務
平成 4 年	那覇地家裁判事
平成 6 年	東京地裁判事
平成 8 年	法務省民事局参事官
平成 13 年	法務省大臣官房参事官
平成 14 年	法務省民事局民事法制管理官
平成 15 年	法務省大臣官房審議官 (心得)
平成 16 年	法務省大臣官房審議官
平成 20 年	法務省大臣官房司法法制部長
平成 22 年	東京高裁判事
平成 23 年	東京地裁判事部総括
平成 24 年	法務省民事局長
平成 27 年	東京高裁判事部総括
平成 28 年	さいたま地裁所長
平成 29 年	東京高裁長官
平成 30 年 1 月 9 日	最高裁判所判事

信条、趣味など

裁判官としての心構え

最高裁判所に係属する事件は、難しい法律問題や価値判断の分かれる論点を含んでいるために判断の難しいものが少なくありませんが、それぞれの事件における適正妥当な判断、とりわけ、法律審としての適正妥当な法の解釈及び適用を見出すことに力を尽くしたいと考えています。

印象に残った本

本は、ジャンルを問わずに読みますが、近年読んだ本では、世界的なベストセラーになった「サピエンス全史（上・下） 文明の構造と人類の幸福」（ユヴァル・ノア・ハラリ著）が面白かったものとして印象に残っています。

趣味

特別な趣味はありませんが、あえて言えば、料理が趣味です。和、洋、中華、エスニックと日常的に様々な料理を作っていますし、料理に関する本を読むことも好きです。